

別表第 1（第 2 条関係）

制 帽	男 性 用	地 質	濃紺色の布地
		制 式	円形とし、前ひさし及び顎ひもは、黒色の合成皮革製とする。 顎ひもの両端は、帽の両側において金色の金属製消防き章各 1 個で留める。 形状は、制帽制式の図のとおりとする。
		帽 章	帽の前面に、黒色の布地の台地に銀色の金属製消防き章を金色のモール製の桜模様で囲んだ標章を付ける。 形状は、制帽き章の図のとおりとする。
		周 章	帽の腰周りには、黒色のなな子織を巻き、消防司令以上は蛇腹組の金色の線及び蛇腹組の黒色の線を、消防司令補は蛇腹組の黒色の線を巻く。 形状及び寸法は、制帽周章の図のとおりとする。
	女 性 用	地 質	男性用と同様とする。
		制 式	平頭型とする。 形状は、制帽制式の図のとおりとする。
		帽 章	男性用と同様とする。
		周 章	男性用と同様とする。
合 冬 服 上 衣		地 質	制帽と同様とする。
		制 式	背広ダブルとし、消防き章を付けた金色の金属製ボタン各 3 個を 2 行に付ける。 前面の下部の左右に各 1 個のふた付きポケットを付け、胸部の左に 1 個のポケットを付ける。 女性用の打合わせは左前とする。 形状は、合冬服上衣制式の図及び合冬服上衣ボタンの図のとおりとする。
		そ で	表半面に 1 条の黒色のしま織線をまとう。 消防司令以上は、しま織線の下部に 1 条の蛇腹組の金色の線をまとい、その下部に金色の金属製消防き章を付ける。 消防司令補は、しま織線の下部に 1 条の蛇腹組の金色

			の線をまとう。 消防士長は、しま織線の下部に 1 条の蛇腹組の銀色の線をまとう。 形状及び寸法は、合冬服上衣そで章の図のとおりとする。	
		襟章	金属製とし、銀色の京都市紋章の略章（以下「市章」という。）を載せた桜型の台地に金色の消防き章を付けたものとする。 上衣の左下襟に付ける。 形状は、合冬服上衣襟章の図のとおりとする。	
		ズボン	地質	上衣と同様とする。
			制式	長ズボンとし、両もも及び後方の右に各 1 個のポケットを付け、後方のポケットは、ボタンで留める。 すそは、シングルとする。 形状は、合冬服ズボン制式の図のとおりとする。
	スカート	地質	上衣と同様とする。	
		制式	セミタイト型とし、後ろファスナー開きとする。 後面の中央部にスリットを開ける。 前脇の右にポケットを付ける。 形状は、合冬服スカート制式の図のとおりとする。	
	夏服	上衣	地質	淡青色の布地
			制式	台襟付きシャツカラーとする。 ボタン 5 個を 1 行に付ける。 胸部の左右に各 1 個の蓋付きポケットを付け、ボタンで留める。 袖は、長袖及び半袖の 2 種類とし、長袖の袖口は、ボタンで留める。 肩章は、外側の端を肩の縫い目に縫い込み、襟側をボタンで留める。 女性用の打合わせは左前とする。 形状は、夏服上衣制式の図のとおりとする。
ズボン		地質	紺色の布地	
		制式	長ズボンとし、両もも及び後方の左右に各 1 個のポケットを付け、後方のポケットは、ボタンで留める。	

			裾は、シングルとする。 形状は、夏服ズボン制式の図のとおりとする。
	スカート	地 質	ズボンと同様とする。
		制 式	合冬服スカートと同様とする。ただし、ポケットは、前脇の左右に付ける。 形状は、夏服スカート制式の図のとおりとする。
消 防 局 章			紺色の合成皮革製の台地とし、銀色の消防き章及び金色の「KYOTO CITY FIRE DEPARTMENT」の文字をオレンジ色の枠で囲んだものとする。 消防局章は、胸部の左に付ける。 形状は、消防局章の図のとおりとする。
階 級 章			黒色の合成皮革製の台地とし、上下の両縁に金色の刺しゅう状の線を施し、中央に金色の平織状の線及び銀色の消防き章を付けたものとする。 階級章は、胸部の右に付ける。 形状及び寸法は、階級章の図のとおりとする。
消 防 長 章			銀色の台地とし、3条の金色の線及び2条の黒色の線を施し、中央に、いぶし銀色の桜葉及び銀磨きの桜花で囲んだはめ込みの金色の消防章を配する。 消防長章は、階級章の上部に付ける。 形状及び寸法は、消防長章の図のとおりとする。
ネ ク タ イ			濃紺色の布地で、幅ネクタイとする。
ワ イ シ ャ ツ			白色の布地で、長そで又は半そでとする。
ブ ラ ウ ス			
バ ン ド			黒色の皮革製とし、金属製前面革張り及び銀色の消防き章入りのバックルを付ける。 形状は、バンドの図のとおりとする。
	地 質		紺色の布地
	制 式		丸ワイド型とし、前ひさは、地質と同様とする。 帽の前面の上部に、「KYOTO」の文字を銀色の糸で刺しゅうし、当該文字を金色の糸で縁取る。 帽の前面の中央に、オレンジ色の糸で線を刺しゅうする。

活 動 帽			帽の前面の下部に、「KYOTO CITY FIRE DEPARTMENT」の文字を銀色の糸で刺しゅうする。 帽の後面に、「京都市消防局」の文字を白色の糸で、刺しゅうする。 形状は、活動帽制式の図のとおりとする。
活 動 服	上 衣	地 質	紺色の難燃性の布地とし、襟及び後面の上部にオレンジ色を配する。
		制 式	ワイシャツカラーとし、掛け合わせにフルファスナーを付ける。 立て襟とし、胸部の右側に２個、左側に１個のファスナー付きポケットを付ける。 袖は、長袖とし、袖口にファスナーを付ける。 後面の上部に「京都市消防局 KYOTO CITY FIRE DEPARTMENT」の文字を青紺色の反射材で入れる。 胸部の左に胸章並びに所属章及び個人章を付ける。 形状は、活動服上衣制式の図のとおりとする。
		胸 章	地質と同様の台地に、紺色の刺しゅう状の縁取りを付け、赤色、黄色、紫色、銀色及び白色で図柄を、金色で「京都市消防局 KYOTO CITY FIRE DEPARTMENT」と記載した昇華プリントワッペンを付ける。 形状は、活動服胸章の図のとおりとする。
		所 属 章	地質と同様の台地に、所属等を明示する文字をオレンジ色の糸で刺しゅうする。 形状は、活動服所属章の図のとおりとする。
		個 人 章	地質と同様の台地に、職員の名字を明示する文字をオレンジ色の糸で刺しゅうする。 形状は、活動服個人章の図のとおりとする。
		地 質	紺色の難燃性の布地

	ズボン	制 式	長ズボンとし、両ももの側面及び後方の左右に各 1 個のポケットを付け、右ももの側面のポケットをファスナー、左ももの側面および後方のポケットを面ファスナーで留める。 裾は、シングルとする。 形状は、活動服ズボン制式の図のとおりとする。
	バ ン ド		黒色のナイロン製とし、帯に 6 本の反射糸を織り込み、ダブルピン方式のバックルを付ける。 形状は、活動服バンドの図のとおりとする。
	救 急 救 命 士 腕 章		紺色の布地の台地に、金色の糸で縁取り及び葉の図柄を、濃紺色の糸で上部の明るい黄色の台地に「救急救命士」の文字を、白色の糸で「E L S T A K Y O T O」及び「K Y O T O F I R E D E P A R T M E N T」の文字並びに中央の図柄及び消防き章を、それぞれ刺しゅうする。 救急救命士の資格を有する者が救急救命士として活動するときは、左上腕部に救急救命士腕章を付ける。 形状は、救急救命士腕章の図のとおりとする。
	局 本 部 長 腕 章		ツイル生地に、紫がかった濃紺色で台地を、金色及び銀色様で、「K Y O T O」、「局本部長」及び「K y o t o C i t y F i r e C h i e f」の文字並びに図柄を印刷し、金糸の刺しゅうで縁取りする。 局本部長は、必要に応じて左上腕部に局本部長腕章を付けることができる。 形状は、局本部長腕章の図のとおりとする。
	上 衣	地 質	オレンジ色の導電性を有する難燃性の布地とし、襟に紺色を配する。
		制 式	ワイシャツカラーとし、掛け合わせにフルファスナーを付ける。 立て襟とし、胸部の右側に 2 個、左側に 1 個のファスナー付きポケットを付ける。 袖は、肘当て付き長袖とし、袖口にファスナーを付ける。 前後面の上部及び肘当てに刺子を施す。

救 助 活 動 服			後面の上部に「京都市消防局　KYOTO　CITY F I R E　D E P A R T M E N T」の文字を紺色の糸で 刺しゅうする。 胸部の左に胸章並びに所属章及び個人章を付ける。 形状は、救助活動服上衣制式の図のとおりとする。	
		胸　章	活動服と同様とする。	
		所属章		
		個人章		
	ズ　ボ　ン	地　質	上衣と同様とする。	
		制　式	膝当て付き長ズボンとし、両ももの側面に各１個のフ ァスナー付きポケットを付ける。 前後面の上部及び膝当てに刺子を施す。 裾は、シングルとし、裾絞り用のゴム紐及び引っ掛け 用の渡りゴム紐を通す。 形状は、救助活動服ズボン制式の図のとおりとする。	
バ　　　　　　ン　　　　　　ド		活動服と同様とする。		
合冬救急活動服	上　　　衣	地　質	明るい黄みがかった灰色の布地	
		制　式	台襟付きシャツカラーの長袖とし、掛け合わせにファ スナーを付ける。 胸部の左右に各１個の蓋付きポケットを付ける。 襟に白色の替え襟を付ける。 袖は、長袖とし、袖口にファスナーを付ける。 肩章は、外側の端を肩の縫い目に縫い込み、襟側を地 質と似た色のボタンで留める。 胸部の左に胸章並びに所属章及び個人章を付ける。 形状は、救急活動服上衣制式の図のとおりとする。	
			胸　章	地質と同様の台地に、「京都市消防局」の文字を黄色 の糸で刺しゅうする。 形状は、活動服と同様とする。
			所属章	活動服と同様とする。
			個人章	
		地　質	暗灰色の布地	

	ズボン	制式	長ズボンとし、両もも及び後方の左右に各 1 個のポケットを付け、後方のポケットは、ボックスプリーツ上切替え仕立てとする。 裾は、シングルとする。 形状は、救急活動服ズボン制式の図のとおりとする。	
	バンド		白色のビニール製とし、銀色のバックルを付ける。 形状は、救急活動服バンドの図のとおりとし、図中斜線部分に白色の反射テープを巻く。	
	救急救命士腕章		活動服と同様とする。	
夏救急活動服	上衣	地質	明るい青みがかった灰色の布地	
		制式	台襟付きシャツカラーとし、掛け合わせにファスナーを付け、後面の上部は、スリット空き、背裏メッシュ仕立てとする。 胸部の左右に各 1 個の蓋付きポケットを付ける。 襟に白色の替え襟を付ける。 袖は、長袖及び半袖の 2 種類とし、長袖の袖口にファスナーを付ける。 肩章は、外側の端を肩の縫い目に縫い込み、襟側を地質と似た色のボタンで留める。 胸部の左に胸章並びに所属章及び階級章を付ける。 形状は、長袖にあっては、合冬救急活動服と同様とし、半袖にあっては、夏救急活動服上衣制式の図のとおりとする。	
			胸章	合冬救急活動服と同様とする。
			所属章	
			個人章	
		ズボン	地質	
	制式			
	バンド			
	救急救命士腕章		活動服と同様とする。	
		地質		銀色の硬質地 本部統括指揮隊員、本部機動支援隊員、上鳥羽特別高度救助隊員及び紫明高度救助隊員は、オレンジ色の硬質地

防 火 帽	制 式		ハーフシェル型とし、内部に頭部の衝撃を防ぐ装置を付ける。 顔面保護板、しころ及び顎ひもを付ける。 帽の左右の側面に京都市消防局エンブレムを付け、「京都市消防局」及び「KYOTO CITY FIRE DEPT.」の文字を紺色（地質がオレンジ色のものにあっては、白色）で入れ、後面には所属等を明示する文字を入れる。 形状は、防火帽制式の図のとおりとする。
	帽 章		帽の前面に、銀色の消防き章を金色の桜模様で囲んだ標章を付ける。 形状は、防火帽帽章の図のとおりとする。
	識 別 章		オレンジ色、黄色又は灰色の反射ファブリック布地に耐熱素材の面ファスナーの表面両面テープで接着し、補強として周縁部付近を黒色の縫製糸で縫い合わせる。 隊名表示は特殊反射材の黒色とし、縁には特殊反射素材のシルバー色を圧着加工する。 形状は、防火帽識別章の図のとおりとする。
	し ころ		銀色、オレンジ色又は金色の耐熱性防水布地とし、表側中央部に面ファスナーを取り付け、オレンジ色、黄色又は灰色の識別章を取り付ける。 折り返し部分は濃灰色、オレンジ色又は黄土色とする。 形状及び寸法は、防火帽しころの図のとおりとする。
防 火 衣	上 衣	地 質	銀色の耐熱性防水布地
		制 式	立て襟とし、掛け合わせにファスナーを付ける。 胸部の左右及び側腹部の左右に雨蓋付きポケットを付ける。 胸部の左右、裾及び袖に反射布を縫い付ける。 後面の上部に、「京都市消防局」の文字を黒色で表示した反射布を縫い付け、裾部に、「KYOTO CITY」の文字をオレンジ色で表示する。 形状は、防火衣上衣制式の図のとおりとする。

	ズボン	地 質	濃紺の耐熱性防水布地 本部統括指揮隊員、本部機動支援隊員及び救助隊員は、オレンジ色の耐熱性防水布地
		制 式	膝当て付き長ズボンとし、左ももの側面に雨蓋付きポケットを付ける。 腰には、ベルトをつける。 裾は、シングルとし、ファスナーを付ける。 裾口に反射布を付ける。 形状は、防火衣ズボン制式の図のとおりとする。
手 袋	常 用 手 袋		白色の布地で、5本指とする。
	防 火 手 袋		布地又は皮革製で、5本指とする。
	作 業 手 袋		布地又は皮革製で、5本指とする。
靴	短 靴		黒色の皮革製又は合成皮革製とする。
	ゴ ム 長 靴		黒色の合成樹脂製長靴とする。
	防 火 靴		黒色の皮革製ブーツで、先芯入りとする。
	活 動 靴		黒色の皮革製編上靴で、先芯入りとする。
	救 急 靴		黒色の皮革製短靴で、先芯入りとする。
防 寒 衣	コート型	地 質	黒色の布地
		制 式	兼用襟（コンバーチブルカラー）とし、襟合せにはバックル付ベルトを設け、前合せは比翼仕立てのボタン留めとする。 両脇に各1個の箱ポケットを付ける。 肩章は、外側の端を肩の縫い目に縫い込み、襟側を地質と似た色のボタンで留める。 袖は、長袖とし、袖先にボタン留めベルトループ付の飾りベルトを設ける。 両腰部に調節バックル付ベルトを設ける。 形状は、防寒衣コート型制式の図のとおりとする。
		胸 章	胸部の左の上部に、地質と似た色の台地に銀色のき章及び金色の「KYOTO CITY FIRE DEPARTMENT」の文字をオレンジ色の枠で囲んだワッペンを付ける。 形状は、消防局章と同様とする。

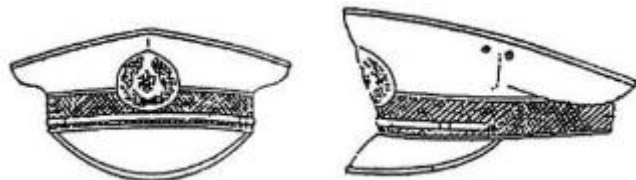
	ジャンパー型	地 質	耐水性及び耐久性のあるネイビーを基調とした布地
		制 式	立ち襟とし、フードを付ける。 掛け合わせに、ファスナーを付ける。 右胸部及び左右腰部に各 1 個のポケットを付ける。 袖は 2 枚袖仕立てとし、袖口はインナーカフスリブ、裾はストッパー付きドロコードを付ける。 左胸、右袖上腕の外側及び背面に「京都市消防局」及び「KYOTO CITY FIRE DEPARTMENT」の文字を反射材で入れる。 形状は、防寒衣ジャンパー型制式の図のとおりとする。
雨 衣	上 衣	地 質	オレンジ色と灰色の防水性布地
		制 式	立ち襟とし、頭巾を付け、掛け合わせにファスナーを付け、前合わせはボタン及び面ファスナーで留める。 前面の下部の左右に各 1 個の蓋付きポケットを付ける。 袖は、長袖とし、袖口の外側にはタブを付け、面ファスナーで留める。 後面の上部に「京都市消防局」及び「K y o t o C i t y」の文字を銀色の反射材で入れる。 形状は、雨衣上位制式の図のとおりとする。
	ズ ボ ン	地 質	灰色の防水性布地
		制 式	長ズボンとする。 裾は、シングルとし、ファスナー及び面ファスナーを付ける。 形状は、雨衣ズボン制式の図のとおりとする。

京都市消防吏員服制の形状及び寸法

数字は、寸法を示し、その単位はミリメートルとする。

制帽制式の図

(男性用)



(女性用)



制帽き章の図



制帽帽章の図

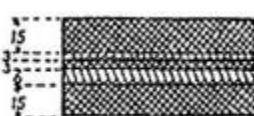


制帽周章の図

消防司監



消防正監及び消防監



消防司令長



消防司令



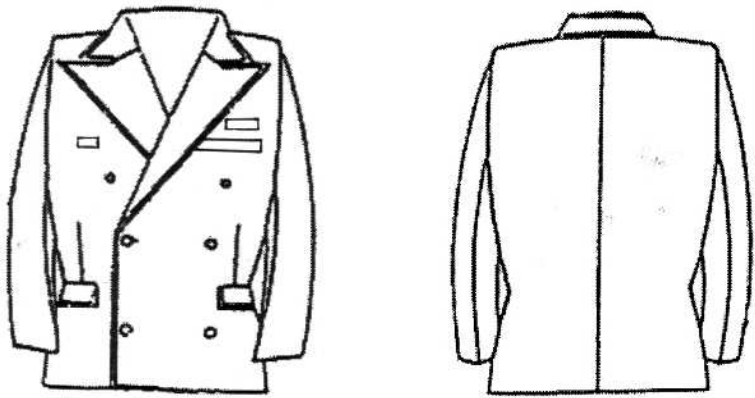
消防司令補



消防士長、消防副士長及び消防士



合冬服上衣制式の図



合冬服上衣ボタンの図

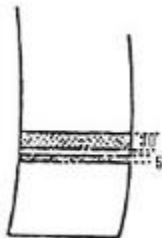


合冬服上衣そで章の図

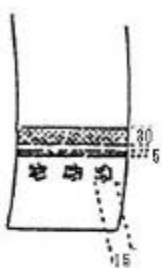
消防司監及び消防正監



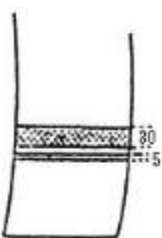
消防司令補



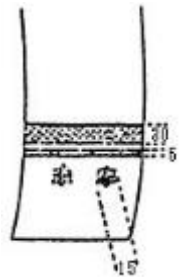
消防監



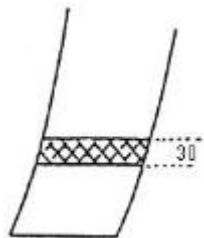
消防士長



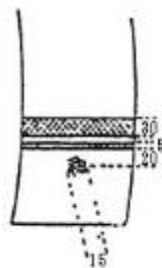
消防司令長



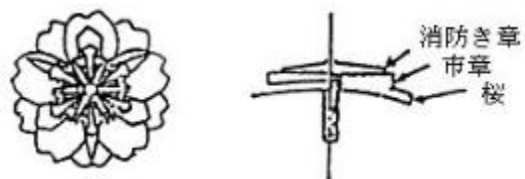
消防副士長及び消防士



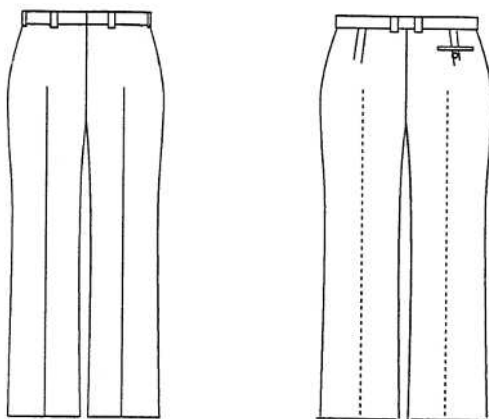
消防司令



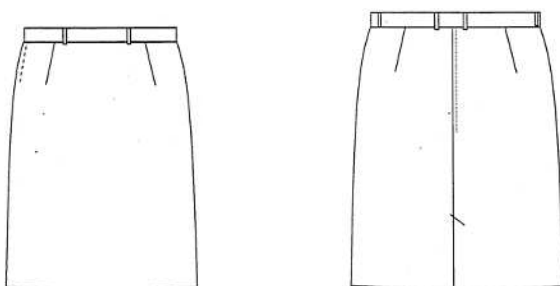
合冬服上衣襟章の図



合冬服ズボン制式の図

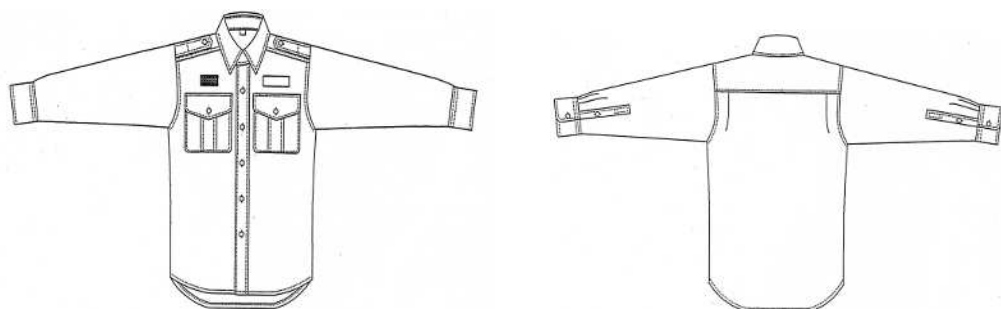


合冬服スカート制式の図



夏服上衣制式の図

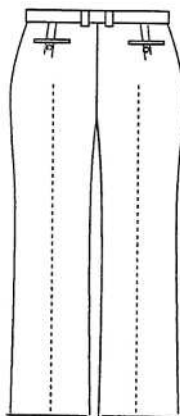
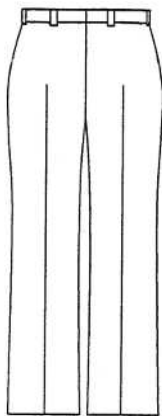
(長袖)



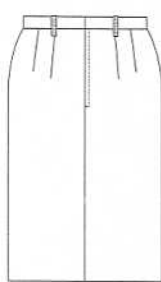
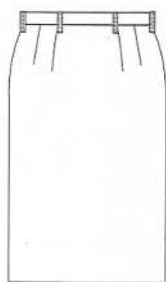
(半袖)



夏服ズボン制式の図



夏服スカート制式の図

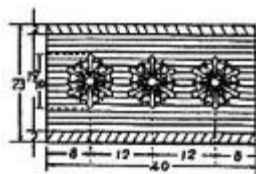


消防局章の図

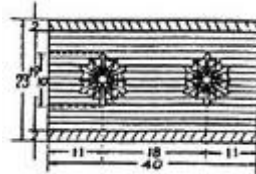


階級章の図

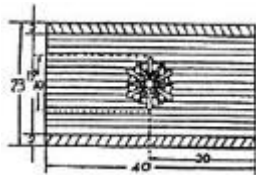
消防司監



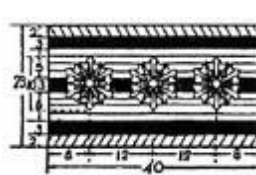
消防正監



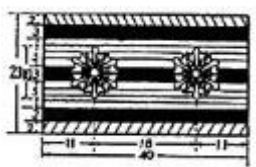
消防監



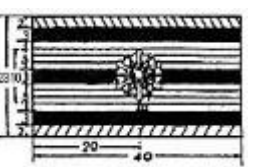
消防司令長



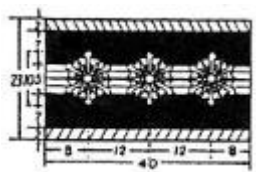
消防司令



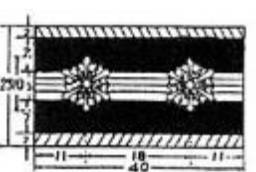
消防司令補



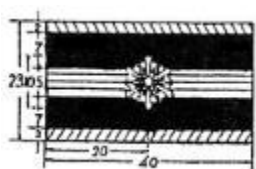
消防士長



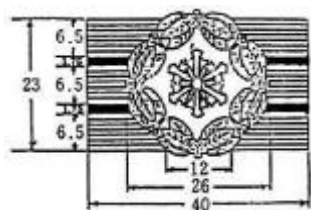
消防副士長



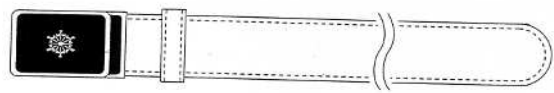
消防士



消防長章の図



バンドの図



活動帽制式の図



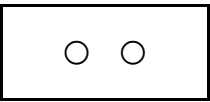
活動服上衣制式の図



活動服胸章の図



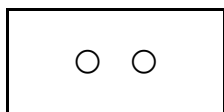
活動服所属章の図



所属等を明示する文字

区 分	明示する文字
消防局本部に勤務する 部長級以上の職員	「局長」、「〇〇担 当部長」等
消防局本部に勤務する 上記以外の職員	「総務」、「警防」等
消防署又は消防分署に 勤務する職員	「北」、「醍醐」等

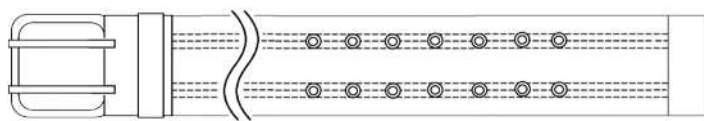
活動服個人章の図



活動服ズボン制式の図



活動服バンドの図



局本部長腕章の図



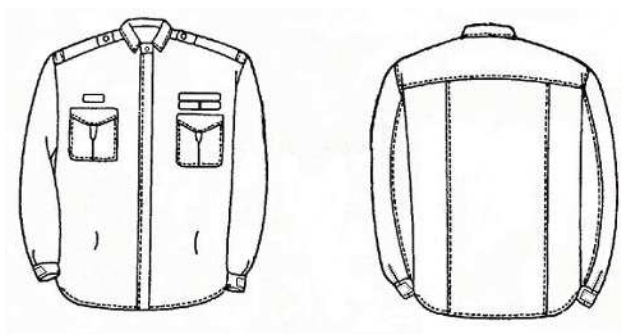
救助活動服上衣制式の図



救助活動服ズボン制式の図



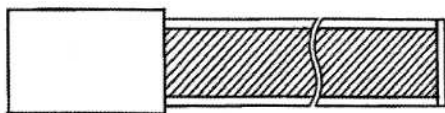
救急活動服上衣制式の図



救急活動服ズボン制式の図



救急活動服バンドの図

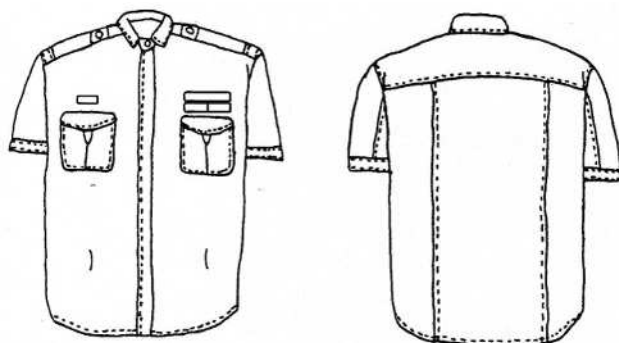


救急救命士腕章の図

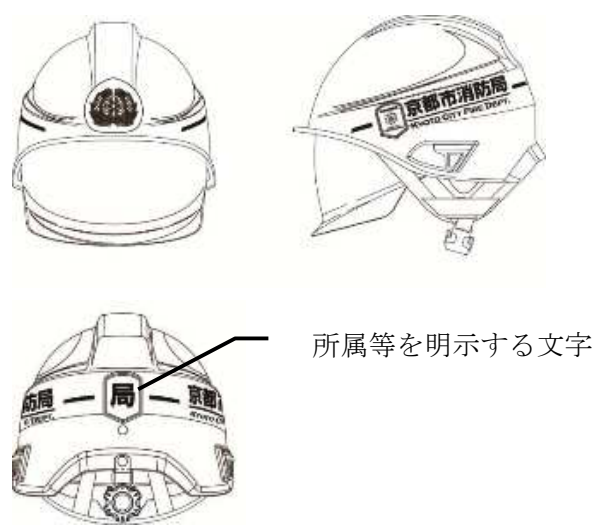


夏救急活動服上衣制式の図

(半袖)



防火帽制式の図



防火帽帽章の図

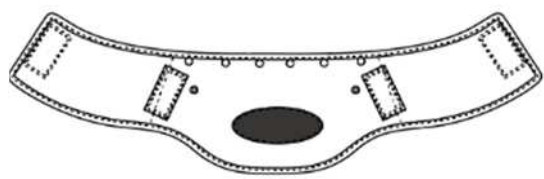


防火帽周章の図

階 級	周 章
消 防 司 監	8 3 15 3 15
消 防 正 監	8 3 8 3 15
消 防 監	8 4 8 4 8

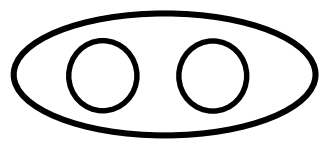
消防司令長	8 4 4 4 8 
消 防 司 令	8 4 8 
消防司令補	4 4 8 
消 防 士 長	4 4 4 
消防副士長	2 4 4 
消 防 士	4 

防火帽しころの図

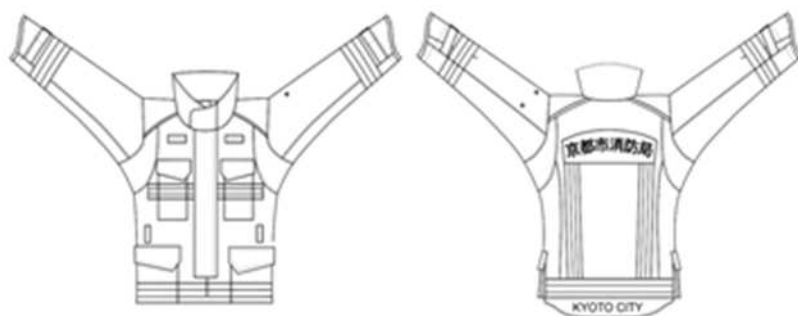


区 分	台地の色	明示する文字
局本部長	オレンジ色	「局本部長」
司令部長		「司令部長」
署本部長		「署本部長」
隊長		部隊名を明示
副隊長	黄色	
隊員	灰色	

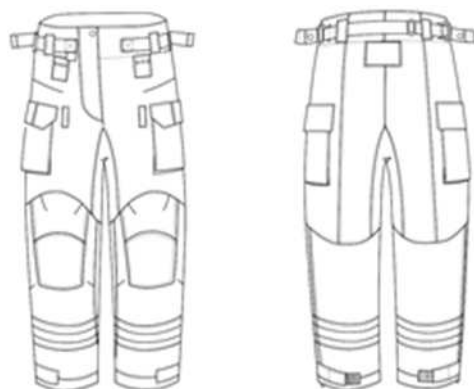
防火帽しころの識別章の図



防火衣上衣制式の図



防火衣ズボン制式の図



防寒衣コート型制式の図



防寒衣ジャンパー型制式の図



雨衣上衣制式の図



雨衣ズボン制式の図



別表第 2（第 3 条関係）

保 安 帽	地 質		白色の硬質地
	制 式		ハーフシェル型とし、内部に頭部の衝撃を防ぐ装置を付ける。 顎ひもを付け、帽の下端外周りに衝撃緩衝用ゴムを巻く。 帽の左右の側面に、「京都市消防局」の文字を黒色で入れる。 形状は、保安帽制式の図のとおりとする。
	帽 章		帽の前面に、銀色の消防き章を付ける。 形状は、保安帽帽章の図のとおりとする。
	周 章		別表第 1 防火帽と同様とする。ただし、反射線は灰色とする。
救 急 帽	地 質		白色の硬質地
	制 式		ハーフシェル型とし、内部に頭部の衝撃を防ぐ装置を付ける。 顎ひもを付ける。 帽の左右の側面に「京都市消防局」の文字を青色の反射材で入れ、後面には所属等を明示する文字を入れる。 形状は、救急帽制式の図のとおりとする。
	帽 章		帽の前面に、銀色の消防き章を金色の桜模様で囲んだ標章を付ける。 形状は、救急帽帽章の図のとおりとする。
	周 章		別表第 1 防火帽と同様とする。
活 動 用 下 衣	長 袖	地 質	濃紺色の布地
		制 式	丸首襟とする。 胸部の左に「KYOTO CITY」及び「FIRE DEPT.」の文字を白色でプリントする。 袖口は、ゴム織りとする。 形状は、活動用下衣長袖の図のとおりとする。
	半 袖	地 質	長袖と同様とする。

統括指揮 活動服		制式	丸首襟とする。 胸部の左に「KYOTO CITY」及び「FIRE DEPT.」の文字を白色でプリントする。 形状は、活動用下衣半袖の図のとおりとする。
	上 衣	地質	紺色の制電性を有する難燃性の布地とし、襟、袖の外側、肩及び後面の上部にオレンジ色を配する。
		制式	ワイシャツカラーとし、掛け合わせにフルファスナーを付ける。 立て襟とし、胸部の右側に２個、左側に１個のファスナー付きポケットを付ける。 袖は、長袖とし、袖口にファスナーを付ける。 後面の上部に「京都市消防局」、「KYOTO CITY FIRE DEPT.」及び「HYPER COMMAND TEAM」の文字を青色の反射材で入れる。 胸部の左に胸章並びに所属章及び個人章を付ける。 形状は、統括指揮活動服上衣制式の図のとおりとする。
		胸章	別表第１活動服と同様とする。
		所属章	
		個人章	
	ズボン	地質	別表第１活動服と同様とする。
		制式	
	バンド		
	本部統括指揮隊員腕章		紫がかった濃紺色の布製及び合成皮革製の台地に金色の刺しゅう状の縁取りを、金色及び銀色で図柄を、金色で「KYOTO」、「統括指揮隊」及び「Hyper Command Team」の文字をそれぞれ付けたものとする。 本部統括指揮隊員は、左上腕部に本部統括指揮隊員腕章を付ける。 形状は、本部統括指揮隊員腕章の図のとおりとする。

特別高度（高度） 救 助 活 動 服	本部機動支援隊員腕章		紺色のツイル生地在台地に、白色及び金色で「KYOTO」、「本部機動支援隊」及び「Fire Support Task Force」の文字並びに図柄を印刷し、紺糸の刺しゅうで縁取りする。 本部機動支援隊員は、左上腕部に本部機動支援隊員腕章を付ける。 形状は、本部機動支援隊員腕章の図のとおりとする。
	上 衣	地 質	オレンジ色の導電性を有する難燃性の布地とし、襟、袖の外側、肩及び後面の上部に紺色を配する。
		制 式	ワイシャツカラーとし、掛け合わせにフルファスナーを付ける。 立て襟とし、胸部の右側に２個、左側に１個のファスナー付きポケットを付ける。 袖は、肘当て付き長袖とし、袖口にファスナーを付ける。 前後面の上部及び肘当てに刺子を施す。 後面の上部に「京都市消防局 KYOTO CITY FIRE DEPARTMENT」の文字をオレンジ色の糸で刺しゅうする。 胸部の左に胸章並びに所属章及び個人章を付ける。 形状は、特別高度（高度）救助活動服上衣制式の図のとおりとする。
		胸 章	別表第１救助活動服と同様とする。
		所 属 章	別表第１活動服と同様とする。
		個 人 章	
	ズボン	地 質	別表第１救助活動服と同様とする。
		制 式	
	パ ン ド		

	特別高度救助隊員腕章		紫がかった濃紺色の合成皮革製の台地に赤色及び黄色で刺しゅう状の縁取りを、銀色及び金色で図柄を、オレンジ色、黄色及び銀色で「KYOTO」、「特別高度救助隊」及び「Super Advanced Rescue Team」の文字を付けたものとする。 上鳥羽特別高度救助隊員は、左上腕部に特別高度救助隊員腕章を付ける。 形状は、特別高度救助隊員腕章の図のとおりとする。 上鳥羽特別高度救助隊員で救急救命士の資格を有する者は、同腕章に加え、右上腕部に救急救命士腕章を付ける。
	高度救助隊員腕章		ツイル生地に、赤色で台地を、紺色、黄色及び白色で「KYOTO」、「高度救助隊」及び「Advanced Rescue Team」の文字並びに図柄を印刷し、紺糸の刺しゅうで縁取りする。 紫明高度救助隊員は、左上腕部に高度救助隊員腕章を付ける。 形状は、高度救助隊員腕章の図のとおりとする。
飛行服	上衣	地質	特別高度（高度）救助活動服と同様とする。
		制式	
		胸章	
		所属章	別表第1活動服と同様とする。
		個人章	
	ズボン	地質	特別高度（高度）救助活動服と同様とする。
		制式	
	バンド		別表第1活動服と同様とする。
	航空隊員腕章		白色のツイル生地在台地に、赤色、黄色及び白色で「KYOTO」、「消防航空隊」及び「Fire Aviation Unit」の文字並びに図柄を印刷し、赤糸の刺しゅうで縁取りする。 航空隊員は、左上腕部に航空隊員腕章を付ける。 形状は、航空隊員腕章の図のとおりとする。

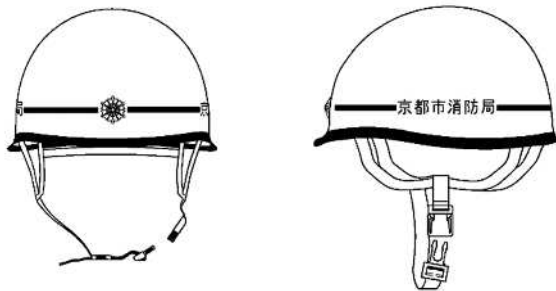
防 寒 服	地 質	濃紺色の布地
	制 式	丸首襟とし、地質と似た色のジャージを付ける。 掛け合わせに、ファスナーを付ける。 前面の下部の左右に各 1 個のポケットを付ける。 袖は、長袖とし、袖口及び裾に地質と似た色のジャージを付ける。 後面は、肩部から左右にひだをとる。 胸部の左に胸章を付ける。 形状は、防寒服制式の図のとおりとする。
	胸 章	白色の布地の台地に「京都市消防局」の文字を赤色で刺しゅうする。
飛 行 靴		紺色を主とする化学繊維製の中編上靴とする。
活 動 服 (半 袖)	地 質	濃紺色の布地
	制 式	ポロシャツ型（半袖）とする。 折り襟とし、ボタンダウン仕様とする。 胸部の左にポケットを付ける。 胸部の右に「京都市消防局」及び「K y o t o C i t y F i r e D e p a r t m e n t」の文字を銀糸で刺しゅうし、中央にオレンジ色の糸でラインを刺しゅうする。 形状は、活動服（半袖）制式の図のとおりとする。
救 急 実 習 服	地 質	濃紺色の布地
	制 式	Vネック襟とする。 袖は半袖とし、右肩にスナップボタンを付ける。 胸部の右に所属章及び個人章並びに左上腕部に救急救命士腕章をそれぞれ付ける。 袖口及び襟元から袖にかけて、暗灰色の平織線を付ける。 胸部の左及び側腹部の左右にポケットを付ける。 胸部の右に「京都市消防局」及び「救急救命士」の文字をオレンジ色の糸で刺しゅうする。 形状は、救急実習服制式の図のとおりとする。
付 き	章	合冬服の襟章と同様とする。ただし、直径は 1 2 ミ

属 品		リメートル、市章径は11ミリメートル、消防き章径は7ミリメートルとし、ピン式とする。
	帽 雨 覆 い	透明のビニール地で、帽子を覆うものとする。

京都市消防吏員服制の形状及び寸法

数字は、寸法を示し、その単位はミリメートルとする。

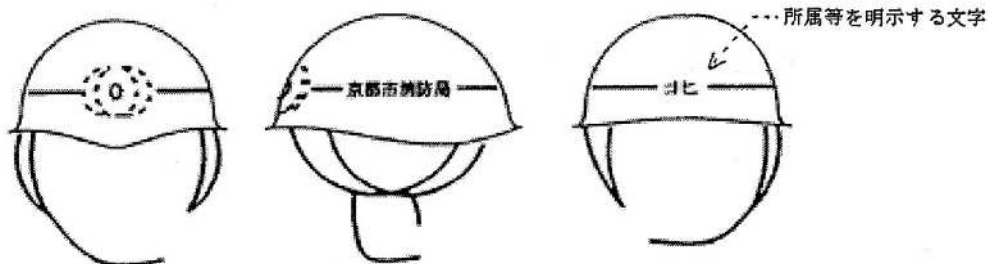
保安帽制式の図



保安帽帽章の図



救急帽制式の図



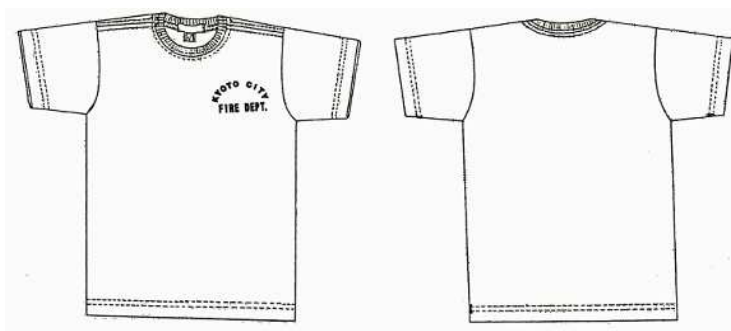
救急帽帽章の図



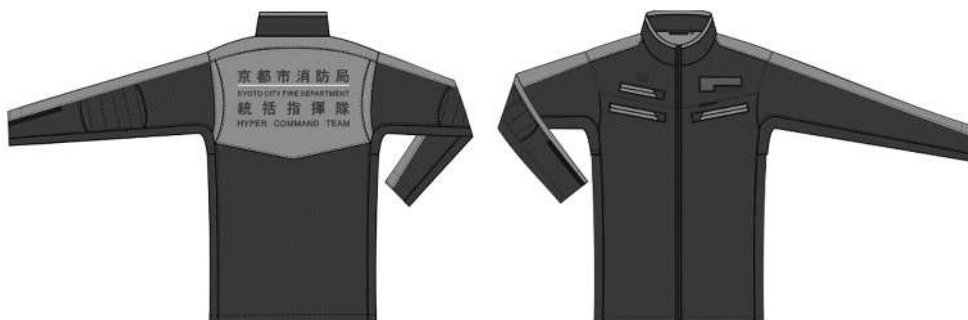
活動用下衣長袖の図



活動用下衣半袖の図



統括指揮活動服上衣制式の図



本部統括指揮隊員腕章の図



本部機動支援隊員腕章の図



航空隊員腕章の図



特別高度救助活動服上衣制式の図



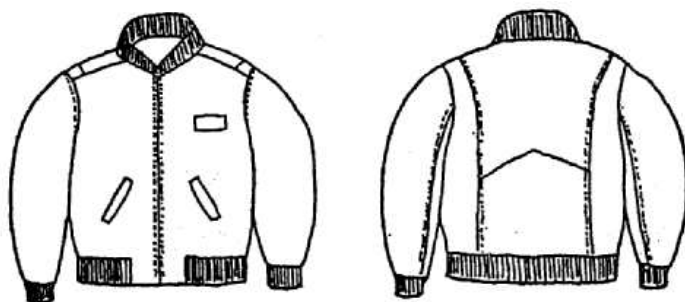
特別高度救助隊員腕章の図



高度救助隊員腕章の図



防寒服制式の図



活動服（半袖）制式の図



救急実習服制式の図

